

日本語等研修コース修了発表会

来場者アンケート集計報告

—2001年度春学期生～2002年度秋学期生（4期分）—

池田 英喜

ikedata@isc.niigata-u.ac.jp

0. はじめに

新潟大学留学生センターでは、大学院入学前日本語予備教育学生に対して、日本語等研修コース修了発表会（以下発表会）という名前で、学生それぞれの興味に沿ったテーマで日本語によるアンケート調査を行ない、そのデータをまとめ、考察を加えて日本語で発表をすることを修了要件に組み込んでいる。発表自体はひとり約5分で、そのあと発表についての質疑応答が約5分用意されており、合計10分という時間を人前で、日本語で対応する¹ことを要求している。この発表会は、あくまで日本語のトレーニングの一環として行うものであり、データの統計処理、科学的根拠といったものは基本的には要求せず、簡単な日本語²による論理的な展開を求めている。

この発表会は、以前は学内で研修コース修了後の学生とそれぞれの指導教官、国際ボランティアサークルの学生、あるいは過去の研修コース修了生等を招いて、非公開³で実施していたが、

- 1) 内容が留学生独特の視点からのものが多いので、一般の日本人に聞いてもらう価値がある。
- 2) 大学を取り巻く地域にどんな留学生が生活しているのかを知ってもらう。
- 3) 留学生と一般市民の接点を街の真中で持つことができる。

といったような観点から、2001年度春学期生から、新潟市西堀 NEXT21の6階にある新潟市民プラザという大きなホールを借りて、完全公開⁴で実施することにした。それに伴い、大学周辺地域の公民館などにポスターを配布し掲示をお願いしたり、市内の高等学校へ案内状を出したり、市報に情報を掲載したりと、いろいろな形で宣伝活動も行なった。

本報告は、発表会当日に来場者に記入をお願いしたアンケートを集計したものである。

¹ 場合によっては、英語による簡単な通訳をつけることもある。

² 「簡単な日本語」をこちらが設定し、それを使用することを強制したりはしていない。「簡単」のレベル自体には当然個人差があり、学習者それぞれのレベルに合った日本語で発表できるようにサポートしている。ただし「どんなレベルであっても論理的展開は可能である」というスタンスに立っている。

³ 部外者をシャットアウトするという厳しいものではなく、特に外に向けて宣伝活動をしなかったという程度のものである。

⁴ 入場無料、申し込み等一切必要なし。

1. 発表会までの準備のプロセス

参考までに、発表会までの準備のプロセスと、それにいたるまでどれくらいの期間が経過しているかを以下に大まかに紹介する。

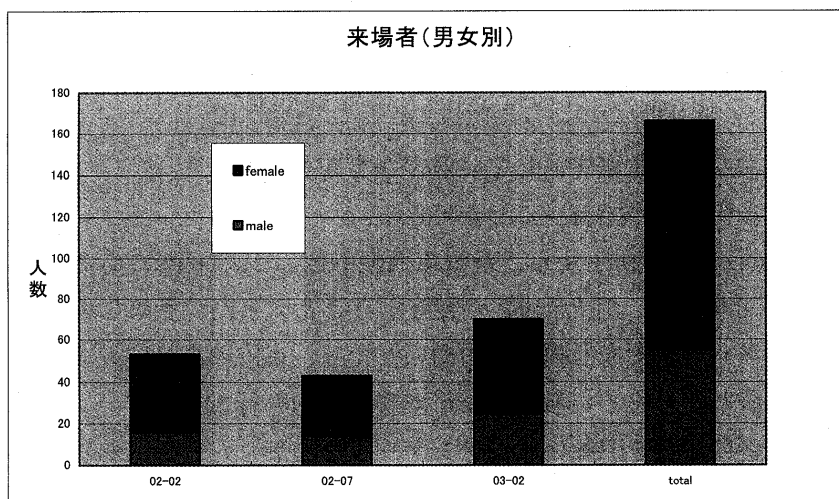
- | | |
|----------------------------|----------|
| 1) 各自テーマの決定 | 来日後約1ヶ月半 |
| 2) 日本語によるアンケートシートを作成 | 来日後約2ヵ月 |
| 3) 日本人にアンケートを配布、回収 | 来日後約2ヵ月半 |
| 4) アンケート結果をエクセルで入力し、グラフを作成 | 来日後約3ヵ月 |
| 5) パワーポイントを用いて発表用スライドを作成 | 来日後約3ヵ月半 |
| 6) スライドに合わせた発表用の日本語読み原稿を作成 | 来日後約3ヵ月半 |
| 7) リハーサル | 来日後約4ヶ月 |
| 8) 発表 | 来日後約4ヶ月 |

2. データ

2.0. 基本事項

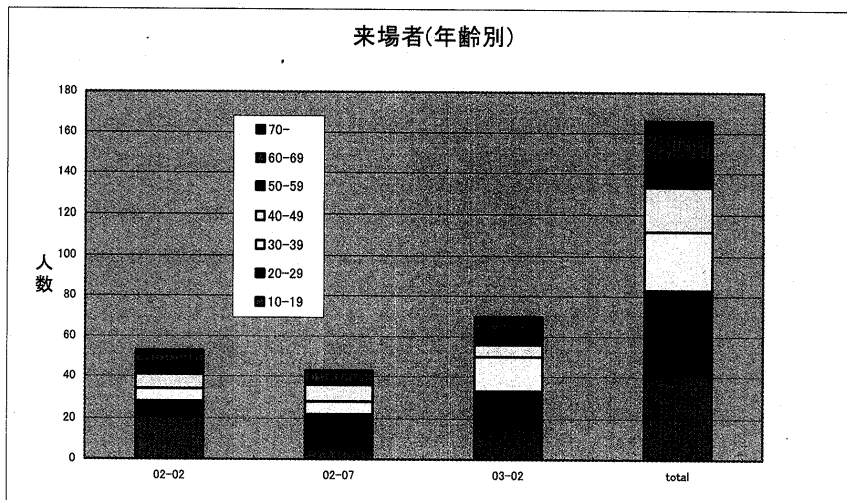
来場者アンケート調査は2001年度秋学期生（2002年2月発表）から実施したため、2001年度春学期生の発表会（2001年7月実施）のデータは今回の報告には含まれない事を最初に断っておく。

2.1. 男女別来場者



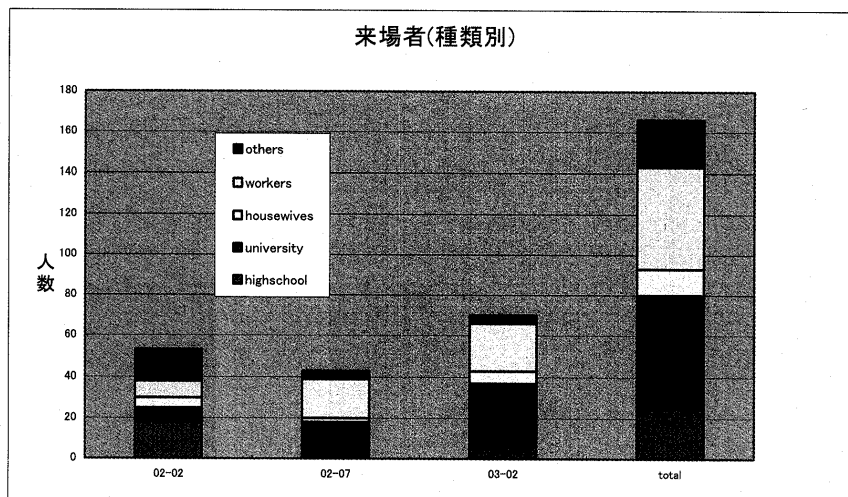
来場者は女性のほうが多く、約6割を占める。国際交流イベントには一般的に女性の参加率が高いこととも一致している。

2. 2. 年齢別来場者



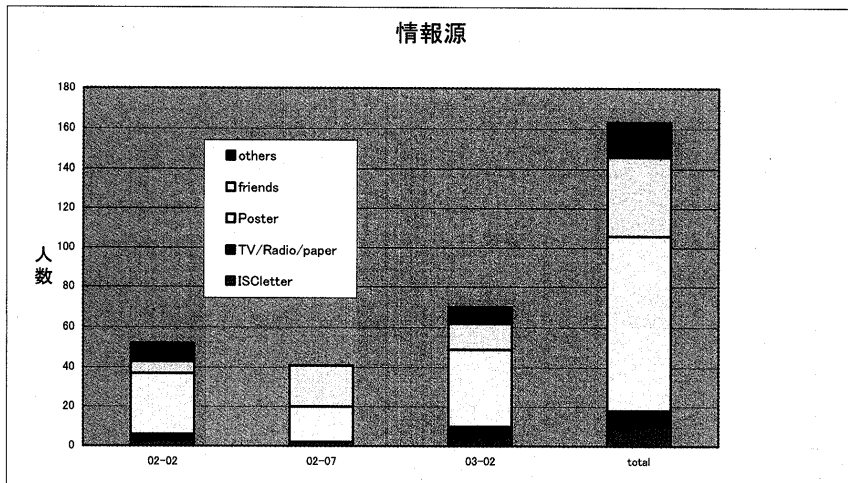
10代20代の来場者で約5割を占めているが、特別ある年齢層の来場者が多いということはない。このようなイベントに対しては、一般市民が平均的に関心を示していることがうかがえる。

2. 3. 種類別来場者



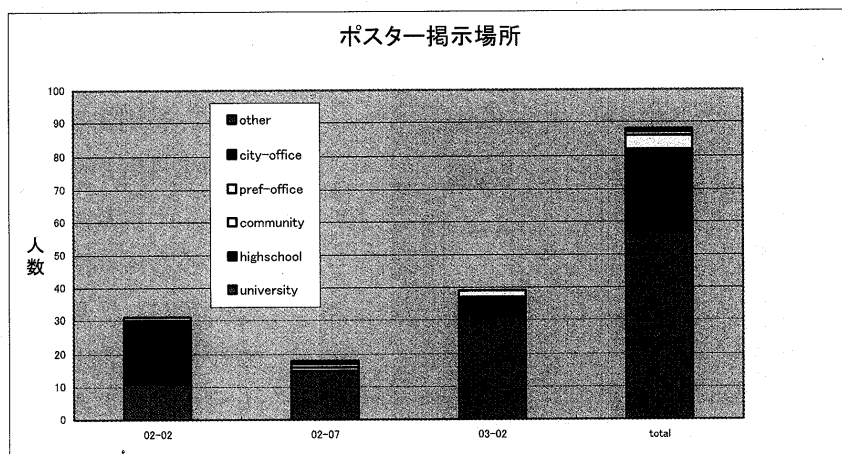
高校生、大学生で約5割を占める。一般社会人の来場者が約3割と比較的多いことも特徴的である。2002年2月は平日(火曜日)午後を実施したため、一般社会人の来場は少なかった。

2. 4. 来場者の情報源



発表会の情報をどのような形で入手されたかを調べた結果、ポスターが約6割を占めた。

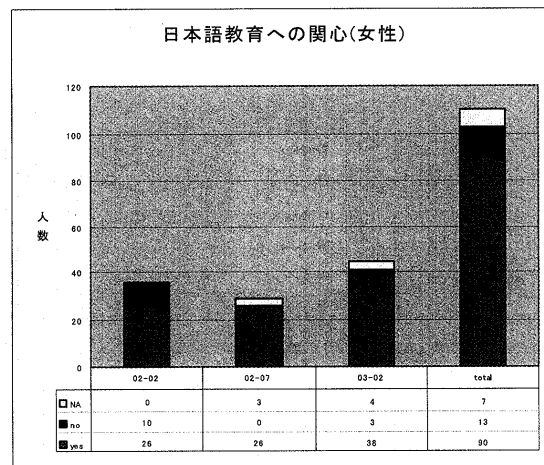
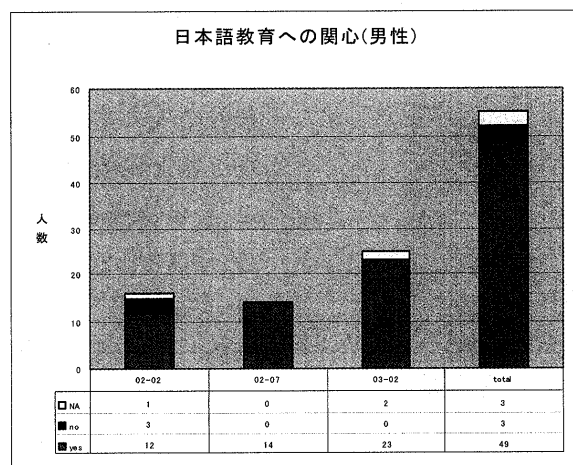
2. 5. ポスター掲示場所



ポスターの掲示場所でいちばん効果的だったのは、新潟大学の学内であった。また、来場者の約3割が市役所掲示のポスターを見て来たと答えた。

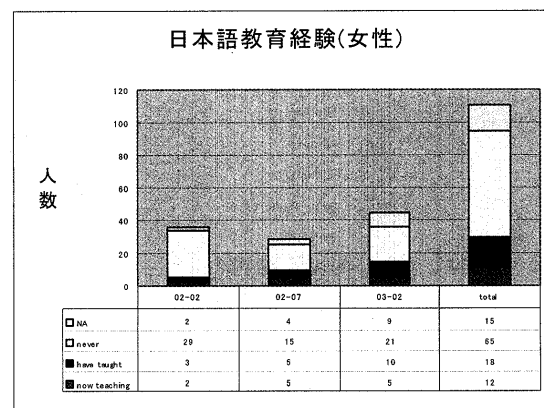
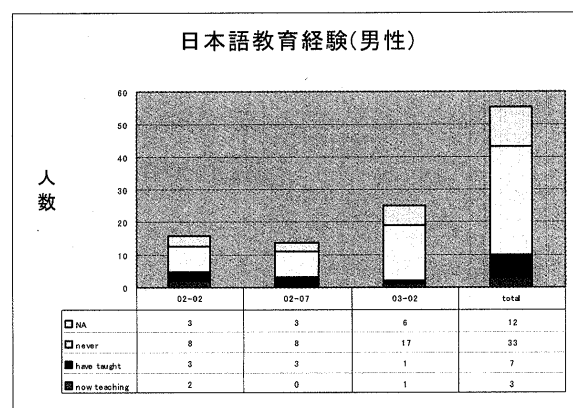
2. 6. 男女別データ

2. 6. 1. 日本語教育への関心



日本語教育には男性で9割、女性で8割の人間が関心を示しており、関心の高さが伺える。

2. 6. 2. 日本語教育経験



日本語教育経験者は男性で2割弱、女性で3割弱と約1割の開きがあり、実数では男性10人に対し女性30人であった。

2. 7. まとめ

データからわかる事を簡単に整理すると、以下のようになる。

- 1) 女性のほうが比較的関心を示している。
- 2) 20代以下と30代以上の割合はおよそ50:50である。
- 3) 学生とそうでない人の割合はおよそ50:50である。
- 4) 発表会の宣伝にはポスターが効果的である。
- 5) ポスターの掲示場所は、学外の場合は、不特定多数の人間が集まる市役所がいちばん効果的である。
- 6) 来場者は男女とも日本語教育に関心はあるが、実践していない(できない)人が多い。

3. 意見および感想

ここではアンケートに書いていただいた77の感想⁵をすべて掲載する。多数意見等はあとでまとめる。ちなみに1～27が2002年2月分、28～47が2002年7月分、48～77が2003年2月にいただいたものである。

1	全般的に発音・抑揚ともに大変自然で、センターでの日本語教授法の素晴らしさが想像できました。
2	質問を設けた理由、予めヒントのようなものを発表者に手渡しておくとい
3	日本人に対する自分の関心がききたかった。
4	とても面白い発表会でした。留学生の方々が日本語をととても上手に話せていて驚きました。英語を学んでいる私にとって、良い刺激になりました。
5	すごく楽しめました
6	日本人は勉強より他国の information を知るべきではないか
7	半年でここまでの日本語を覚え、話せる様になるなんてスバラシイ!! きっと努力をしたのだと思います。
8	留学生センターが日本語基礎教育をしっかり行っていることがわかり、嬉しく思いました。
9	流暢な日本語を話せることは、よくわかりました。でも、聞く、ということをもう少し勉強した方がこういう発表会は、より多くの方が来場してくれると思う。一般の方々が、もっと来てくれたらいいと思います。次回はもっと広報を。
10	また、このような機会があったらぜひ参加したいです。
11	調査プラス自分の考えも発表に入れた方がいいと思いました。
12	もう少し自分の考察が入ったらよかったです。
13	発表会の雰囲気が少しかたい様子で驚きました。ただ、各発表のあとの質問タイムが会場全体をまきこむもので良かったと思います。
14	面白かった。
15	とても面白かったです。今、私ははじめて日本語を勉強しています。
16	高校生の方も来場されていて、交流会など、少し話せたらもっと嬉しかったと思います。

⁵ 繰り返して来場くださった方のものもあるので、必ずしも77人分のコメントというわけではない。

17	ありがとうございました。
18	とても内容的に深いものが多くおもしろいものばかりでした。少し人によってはグラフの展開がはやいものがあつた。どなたも聞きやすい日本語できた。ありがとうございました。
19	発表者の人はみんな日本語が上手なのでびっくりしました。
20	一人ひとりだけでなく、留学生全体への日本語の勉強のしかたのコツなどを質問してみたかったです。
21	私たち日本人も他国のことを知っておいたほうが良いと思いました。文化の違いを知っておきたくなりました。
22	アンケートによる発表だけでなく、違う形での発表があってもいいと思いました。
23	① 疑問：全員がアンケートによる調査で何か画一的な感じがいたしました。もっと意見発表などをたくさんお聞きしたい。(日本事情などの体験をとおした) ② 意見：調査した結果についての本人の感想をぜひはっきりと述べてほしい。調査しっぱなしのものもありましたので。 ・全体的に日本語が上手でした。・上達に感心させられました。
24	短期間での日本語の習得には、頭が下がりました。大変良い機会を持たせてくれて有難い集いでした。
25	アンケートだけでなく(アンケートにもとづいて)もっともっと日本に対しての発表者自身の考えを聞きたかった。
26	また、時間があつたら来たい。
27	一般来場者が来ないのは、入口(一階)のアピールの仕方が良くない。理解を求めて、数日前より大きく標示(広告)していると良いのでは?
28	回を増すごとに皆さんの日本語がきちんと伝えられるような日本語になっている。勉強しているのであろうと思う。日本人よりもきちんと敬語が話されている。
29	皆さん日本語が上手で驚いた。
30	面白いね。がんばって。
31	留学生の視点がとてもユニークで良いと思う。もっと日本のいろんな世代の人が聞いたらいいのにと思います。
32	① 楽しかったです。留学生の方は、常にいろんなことに興味を持っていてすごいと思いました。日本人もそういうところは見習った方がいいと思いました。 ② 質問する日本人も、留学生のことを考えて、わかりやすく言うべきだと思った。自分が目立ちたいだけの質問は留学生にも迷惑だと思う。
33	学生の方々の質問が今回は多くて嬉しく思いました。
34	英語が話せることはとてもスバラシー
35	16人の発表で聴く方が疲れるかな?という気がしていたが、2回のブレイクでこれはクリアできた。足立先生、ご苦労さまでした。
36	ありがとうございました。時間にゆとりができていて大変よかった。
37	みなさん、みじかい間大変日本語がうまくなってうれしいです。
38	会場がGOOD!
39	① 残念ながら今までこのようなすばらしい機会があることを知りませんでした。もっと広報を試みてはどうでしょう。 ② 日本のことを調べると同時に、自国との比較も説明があると良いと思います。
40	発表の内容にいろいろ考えさせられた。楽しかった。
41	日本の若者がもっと会場に足を運ぶ工夫をし、世界に関心を持たせたい。PRにちょっと力を入れたらどうでしょう。学生による口こみ。
42	色々な手段を使って多くの人から聞いてもらうことが大切と思う。
43	いろいろな意見があつてとても楽しかったです。ありがとうございました。
44	みんなとっても楽しいテーマだと思います。留学生が実際に興味をもっている内容もわかって、良かったです。パワーポイントの映像も良かったです。

45	いろんなトピックを選んでいて聞いている方もとても面白かった。映像も効果的で飽きずに見ることが出来ました。来日4ヶ月とは思えない程、日本語が上手だと思いました。
46	4月に来られたばかりなのに日本語がとても上手なのでびっくりしました。どのような勉強をされているのか聞いてみたいです。
47	たった3ヶ月なのにみんなの日本語の上達ぶりに驚きました。ブラボー!!
48	発表者を思いやるフロアからの質問に感動した。
49	一生懸命日本語の勉強をしたことがよくわかりました。日本、新潟 and 人々に良い印象を持って帰ってほしいと願いました。
50	初めて参加しました。素晴らしい企画です。学生たちはもちろん、国際交流にも貢献しています。(中国からの市民病院への研修医二名と会話しました。)
51	質疑応答の時間をもっと長く取ったほうがいいと思う。
52	半年あまりでの日本語の上達ぶりに驚きました。
53	発表はもちろんですが、その後の質問に対する学生の受け答えの真剣さに感銘しました。発表ではクリスティアーニさんとルウィンさんのものが構成が自然でよかったと思います。でもみなさんそれぞれ個性を示しよかったです。
54	わずか4ヶ月の研修で日本語を使いこなしていらして素晴らしいと思いました。
55	楽しくスピーチを聞くことができました。ありがとうございました。
56	外国から見た日本文化ということで改めていろいろな違いを発見し、とても興味深く聞かせていただきました。発表者の方も一生懸命日本で発表されていて、皆さんとてもよかったです。
57	さまざまな文化の違いが聞けて楽しかったです。
58	「日本語で話をしよう」というサニさんはえらいと思います。きっとすぐに日本語が上達するでしょう。
59	今日は生徒を連れてきました。日本語で一生懸命話している姿を見て「私たちも恥ずかしがらずに英語で話そう」と励まされたようです。ありがとうございました。
60	今私は一年で、今年一年間は専門の勉強が忙しく、ろくにアルバイトもできない状態でした。二年になったらもっと英語と中国語に力を入れるつもりです。私は世界のことを知ることが大好きなので、暇が出来たら留学生のみなさんとお話してみたいです。
61	発表者以外の留学生も多く、びっくりした。またぜひ聞きに来たいと思います。
62	質問をする人が日本人だけでなく、いろいろな国の人からされていてとても面白かった。
63	それは日本語研修コース修了者にとってとても役に立つ経験だと思います。
64	どの留学生も短期間とは思えないほどの日本語力を身につけていてすごいと思いました。これからはぜひがんばってください
65	A lot of fun this year!
66	I think the duration of the course (or how intensive it is) is not enough to prepare the students adequately for the audience's questions, exposing them to the ridicule and embarrassing situations.
67	日本語教師という職業に興味があって見に来てみました。普段気がつかなかった、当たり前のことが他の文化から来た人たちにとっては新鮮なんですよ。とても楽しかったですし、みなさん4ヶ月の滞在でこんなに日本語が上手になっているのを見てすごいなあ、と思いました。がんばってください。
68	みなさんそれぞれ難しいテーマに挑戦していてすごいと思いました。いろいろな話が聞けて楽しかったです。
69	もう少し意見が言いやすいように何かないでしょうか?今日は楽しませていただきました。
70	日本とは違う視点が見れて面白かった。
71	みんな日本語が上手で、本当に感動しました。
72	すごく面白かったです。また来たいです。
73	「当センターでは皆様のご意見ご感想を…」という文を please give us a little bit of your time for our future study と書くことに驚きました。格段にフレンドリーですよ。文化の違いは言語に反映されているのですね。

74	今回始めて参加させていただきましたが、さまざまな意見があって、とても面白かったです。国のことも少し知れてよかったです。
75	皆さんの日本語のうまさに感動しました。いろいろ彼らと話をしたいです。ありがとう。
76	日本語がほとんど話せなかったときを知っているので感動した。
77	はじめてでしたが、面白かったです。また来たいと思います。

3. 1. 肯定的多数意見

- 1) 興味深い・面白い。(17)
- 2) 短期間での日本語の上達に驚き。(17)
- 3) 同様のイベントがあればまた来たい。(4)

日本人なら特別不思議に思わないことが外国人の目には不思議にうつることがよくわかったというような意見が多かったのと同時に、日本人がもっと日本のことを知るべきであるというコメントがいくつか見られた。他には、とにかく短期間での発表者の日本語の上達ぶりに驚かれる声が多かった。ただこれは、「難しい日本語をよくぞここまで」という、「いわゆる日本語は世界の言語の中でも難しい言語なのに…」という考え⁶が根拠になっているかもしれないので、そのまま肯定的意見として鵜呑みにはできないが、そのようながった見方はここではせずに、素直に発表者の努力に対する敬意をもった人が多かったのだと理解したい。

3. 2. 否定的多数意見

- 1) 発表者の意見をもっと聞きたい。(5)
- 2) イベントのPR不足・PR下手。(4)
- 3) 発表の仕方が画一的。(3)

1) 2) については今後日本語研修コースを指導・運営する際に、我々教員側が注意すべき点であり、我々の側の努力で改善できるものである。特に2)については今後、市内の高等学校に積極的にはたらきかけて、準備の段階から参加してもらえればと考えている。3)についてはある程度は仕方がない。いくら彼らが努力しても、わずか4ヶ月ではやはり到達できるレベルが限られている。その中での発表ということになるので、来場者⁷には我慢していただくよりほかない。

⁶ たしかに文字体系だけを見れば、日本語ではひらがな・カタカナ・漢字と3つの文字を使い分けなければならない。また敬語体系も日本語母語話者でさえまともに使いこなせない者が増えている昨今、「日本語は世界でも習得が難しい言語である」と信じている人は多い。しかし、どんな言語であれ、それがその人にとっての母語でないなら、習得の段階で何らかの難しさは常にはらんでいる。現に私自身を含め日本語母語話者の中には、英語は非常に修得が困難な言語だと感じている人が多いのではなかろうか。

⁷ 特にリピーターにとっては、毎度毎度同じパターンの発表が繰り返されるので、うんざりする人も出てくることは否めない。

3. 3. その他建設的意見

- 1) 発表表者の留学生ともっと話したい・話す時間が欲しい。
- 2) 質疑応答の時間をもう少し長く取って欲しい。
- 3) 留学生全体に日本語学習のコツなどを聞いてみたい。

これは、いずれも発表者である留学生と直に話す時間がもう少しあればということだと思われる。発表会修了後に誰でも参加できる懇親会を設けているのでそちらを利用してもらいたいと思うが、発表の時間を早め、場所を移すことなく会場内で一緒に話せる時間を増やす方法も今後は考えるべきかもしれない。

4. おわりに

このような形で発表会についてのデータをまとめたのは今回が初めてだが、今までやってきた方向性は間違っていなかったと自負しているし、それを裏付けるだけのデータが揃ったように思う。2003年度春学期の学生からは発表者自身に対してのアンケート調査を実施する予定である。それによって、当の学生がこの発表会をどのように受け止めているかを明確にし、発表者と来場者双方にもっと有意義な時間を共有してもらえるように進化させていきたい。そしてバージョンアップした留学生への日本語教育が、学内日本人学生はもとより、大学周辺地域の人々の国際化（最近では多文化共生社会化ともいうが）にも貢献できるものを構築したいと願っている。